

ラウダート・シ

ともに暮らす家を大切に
を考えるための資料



わたしの主よ、あなたはたたえられますように、
わたしたちの姉妹である母なる大地のために。
アシジの聖フランシスコ

2017年

司会を務める方へ

この回勅をよく読んでおいてください。本を一冊テーブルの中央に置きます。必要なものをそろえるのはあなたの務めです（あるいは誰かに頼んでもいいです）。参加者全員が最も有意義に過ごせるようにミーティングの時間を設定してください。

この文書の精神に従い、第一回のミーティングの前に、エコロジーを考えた交通手段を紹介する。コピーは再生紙で両面コピーにし、ホチキスは使わない。水はペットボトルの使用を避けてピッチャーとコップを用意する。聖歌は余分なコピーをつくらずに、聖歌集やコピーを分かち合って使う。

第一回のミーティング用に、この資料を各人の席に用意する。各人は入室したら、テーブルの上の回勅に目を通すか、この資料をざっと読む。

第一週：姉妹である母なる大地 — 序章

司会：教皇フランシスコの回勅「ラウダート・シ」の5週間の勉強会、第一週によるこそ。勉強会の構成は、主に「ラウダート・シ」の引用（太文字）から成り、引用文の末尾にパラグラフ番号が付いています。教皇フランシスコはこう述べています：「この回勅では、皆がともに暮らす家についての、すべての人との対話に加わりたいのです。」(3) 私たちはそのために、この回勅について祈りながら考え、応えるために、ここに集まっております。この勉強会用に選んだ引用文は246のパラグラフから成るテキスト全文に代わるものではありません。ぜひとも全文をお読みください。

回勅は、短い前書きと六つの章で構成されています。基本はとても大事ですから、第一週は、前書き（1-16）に重点的に取り組みます。この前書きは、「わたしたちがともに暮らす家は、わたしたちの生を分かち合う姉妹のような存在であり、わたしたちをその懷に抱こうと腕を広げる美しい母のような存在」(1) と考える聖フランシスコの宇宙論的な背景について、読者に教えてくれます。この前書き抜きにして、この回勅を正しく理解することはできません。

聖書の言葉は、新共同訳聖書から。ミーティングに出席できない時は、誰かにそのことを伝えてください。そうすれば待たせずに済みます。お茶菓子があつたほうがよければ、用意の仕方を決めましょう。

分かち合う：自己紹介をし、参加したいと思った理由を述べる。[約10分]

見る：“Canticle of the Creatures.” 3.28min. :Google: Seescapes: Sacred Earth (top left)を見るか、聖フランシスコの「太陽の歌」を読む。

共に祈る：愛に満ちた創造主、聖霊よ、教皇フランシスコの言葉について考える私たちの心にキリストと聖フランシスコの霊が宿りますように。[1-2分の沈黙の祈り]。全員：**わたしの主よ、あなたはたたえられますように、わたしたちの姉妹である母なる大地のために。大地は、わたしたちを養い、治め、さまざまの実と色とりどりの草花を生み出します。(1)**

順番に読む：回勅は、教義とされている教えに次ぐ教会の権威を持った教皇が発する正式な公の書簡です。

この回勅の原案をチームで起草したピーター・タークソン枢機卿は、この回勅のことを「祈りに満ちた黙想」であつて、神学的あるいは学問的、もしくは政治的文書

ではないと述べています。

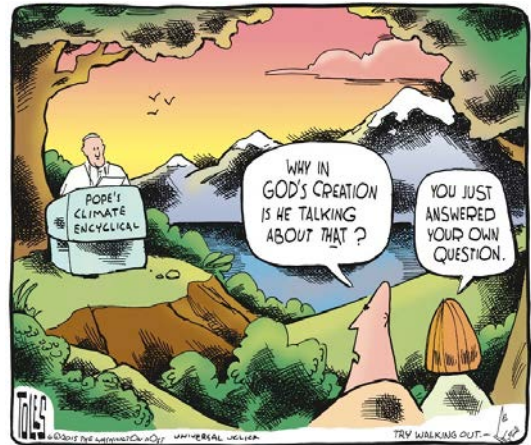
教皇フランシスコの回勅には、被造物の相互依存や地球規模でのエコロジカルな回心[ヨハネ・パウロ2世] (5) について語った過去の聖人や教皇たちの言葉が含まれています。

「ラウダート・シ」の前書きを読む

- わたしたちは自らが土の塵であることを忘れてしまっています（創世記2:7参照）；わたしたちの身体そのものが地球の諸元素からできています。わたしたちは地球の大気を呼吸し、地球の水によって生かされ元気をもらっているのです。

(2)

- 真の人間の発展は道徳的な性質をもっています。それは、十全な人格尊重を前提としますが、また、わたしたちを取り巻く世界のことを気にかけて、「個々の存在物の本姓を、そして秩序ある存在体系の中での存在物相互の間の関係の本姓を考慮する」[ヨハネ・パウロ2世]ものでなければなりません。(5)
- 神聖なものと人間らしいものとが、創造のみわざという継ぎ目のない衣のごく細部において—地球のひとひらの塵の中でさえも—出会う、というのがわたしたちの謙虚な確信です。[ヴァルソロメオス総主教] (9)
- 自然への思いやり、貧しい人々のための正義、社会への積極的関与、そして内的な平和、これらの間の結びつきがどれほど分かちがたいものであるかを、聖フランシスコはわたしたちに示してくれます。(10)
- もしわたしたちが、畏敬と驚嘆の念をもたずに自然や環境に向かうなら、世界とのかかわりにおいて友愛や美のことばを口にしなくなるなら、わたしたちの態度は、限度を設けることなく当面の必要を満たそうとする支配者、消費者、冷酷な搾取者の態度になるでしょう。・・・聖フランシスコの貧しさと簡素さは、禁欲生活の単なる外観ではなく、はるかに徹底したものであって、現実を利用や支配の単なる客体におとしめてしまうことへの拒絶なのです。(11)
- 世界は、解決すべき問題でありよりは、むしろ歓喜と賛美をもって観想されるべ



き喜ばしい神秘的なのです。(12)

- 皆がともに暮らす家を保護するという切迫した課題は、人類家族全体を一つにし、持続可能で全人的な発展を追求するという関心を含意しています。というのは、物事は変わりうると、わたしたちは知っているからです。(13)

上記の引用箇所について考える時間をとり、その後、意外に思った箇所、元気つけられた箇所、嫌だなと思った箇所、戸惑いを感じた箇所、あるいは後に考えさせられたり、学ばせられたりするなど思う箇所があれば、分かち合います。説明してください[約 15-25 分]。

聖書を読む

- **創世記 2:15** 主なる神は人を連れて来て、エデンの園に住まわせ、人がそこを耕し、守るようにされた。
- **ローマの信徒への手紙 5:17** . . . 一人のイエス・キリストによってもたらされるこのとてつもない命の賜物、この偉大な、すべてのものを正しくする賜物をしっかりと受け止める人々の中では、命が驚異的に回復するということを想像してみてください。
- **マタイ 4:4** イエスはお答えになった。「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。」

分かち合う：これらの聖書の言葉と回勅の引用文とはどのようにつながっていると思いますか？

来週のための準備：今週の生活体験を畏敬と驚嘆の念で受け止めるようにする。少なくとも一回は、自分がいつも聖なるものの前であることを意識する特別な時間を持つ。それを次回に分かち合う。前書きと第一章 1-61 を読んでおく。

祈り

答唱：わたしたちの心を愛のうちに開いてください。

- 先唱：皆がともに暮らす家を、わたしたちの生を分かち合う姉妹のように、またわたしたちをその懷に抱こうと腕を広げる美しい母のように扱うことができますように。(1)
- 先唱：わたしたちの身体そのものが地球の諸元素からできていること、わたしたちは地球の大気を吸収し、地球の水によって生かされ元気をもらっていることを忘れることがありませんように。(2)

- 先唱：殊のほか、被造物と、貧しい人や見捨てられた人を思いやり、・・・飾ることなく、また神と、他者と、自然と、自分自身との見事な調和のうちに生きた神秘家であり巡礼者であった聖フランシスコの模範に倣うことができますように。(10)
- 先唱：存在するすべてのものと親密に結ばれていると感じ、節制と気遣いがおのずとわき出てきますように。(11)
- 先唱：貧しい人々と地球の脆弱さとの間にある密接なかかわり、世界中のあらゆるものはつながっているという確信を大切にすることができますように。(16)
- 先唱：この回勅そのものを拒否したり、軽蔑したりする人々に対して。

閉会

歌を歌う（同時に踊る？）：「太陽の歌」“Canticle of the Sun” (The Heavens Are telling) Marty Haugen: You Tube[3:31]を見て。または映像を見ずに歌う。

平和の挨拶を交わす。そのグループのやり方で。

第二週：皆がともに暮らす家に何が起きているか

分かち合う：初参加者がいればその人を紹介する。出席をとる。この一週間に、畏敬や驚嘆の念や被造物の中に神聖さを見出した体験や思いを話し合う。

見る：“Laudato Si” www.youtube.com/watch?v=1tYd0lqvpgg (6 min.) を見るか、“How Geat Thou Art” かそれに似た歌を歌う。

祈る：全員：愛に満ちた創造主、聖霊よ、教皇フランシスコの言葉について考える私たちの心にキリストと聖フランシスコの霊が宿りますように。[黙祷] 全員：わたしの主よ、あなたはたたえられますように、わたしたちの姉妹である母なる大地のために。大地は、わたしたちを養い、治め、さまざまな実と色とりどりの草花を生み出します。(1)

順番に読む：教皇フランシスコは科学を学んだカトリックの教皇であり、聖書の研究と観想に勤しみ、万物は互いにつながっていると考えています。特に、皆がともに暮らす家の最も貧しい人々のことを気にかけています。彼らと私たちは一つだからです。「ラウダート・シ」を一つの政治・経済システムを肯定しているかのように

考えるとしたら、しっかり読んでいないか、もしくはその深みと広さを理解していないのです。

ハッブル望遠鏡のおかげで、科学者はこの進化する目に見える宇宙には 1700-2000 億の銀河系があり、また各銀河系が数十億の星を持っていると推測しています。

この回勅で強調されている気候変動や他の諸問題を否定するのは、地理的または社会的に体験が限られているため、もしくは、他の被造物とかかわりが無いと感じているためのことがままあります。

「ラウダート・シ」の第一章を読む

- 気候変動は、環境、社会、経済、政治、そして財の分配に大きく波及する地球規模の問題です。それは、現代の人類の眼前に立ちはたかる重大な課題の一つです。(25)
- 環境悪化によってますますひどくなる貧困から逃れようとしての移住者数は、痛ましいまでに増加しています。・・・悲しいことに、いまでも世界中至るところで生じているそうした苦しみへの無関心が広まっています。(25)
- わたしたちの世界は飲み水に事欠く貧しい人々に返済すべき甚大な社会的負債を抱えているのです・・・そうした行動の深刻さを甚だしい不平等という文脈で意識することがほとんどないからです。(30)
- わたしたちの世界を冷静に眺めると、ビジネス上の利害や消費主義に与することの少なくない人的介入の度合いは、実際、技術進歩と消費財が無限に増大する中で、わたしたちの地球の豊かさと美しさを奪い、狭め、色あせたものにしつつあるほどです。(34)
- すべての被造物はつながっているのですから、愛と敬意をもってそれぞれを大切に受け止めなければなりませんし、わたしたちは皆互いを必要としている被造物なのです。(42)
- 人間環境と自然環境はともに悪化します。人間や社会の悪化の原因に注意を払うことなしに、環境悪化に適切に立ち向かうことはできません。(48)



- 概して、排除された人々に殊に影響を及ぼす諸問題を、ほとんどの人ははっきりと自覚できていないといわざるを得ません。しかし、そうした人々は、地球住民の多数であり、何十億人にも上るのです。(49)
- 民衆のエコロジカルな意識は高まりつつありますが、有害な消費習慣の転換に至るには十分でなく、消費は、減少するよりはむしろさらに拡大しているように見えます。(55)
- その間、経済大国は、人間の尊厳や環境への影響はいうまでもなく、背景というものを考慮しない投機や金融上の利益追求を優先させながら、現今の世界の構造を正当化し続けます。こうしたことから、環境の悪化と、人間とその倫理の退廃とが密接にかかわっていることが明らかにされます。(56)
- 見ないでおこう、認めないでおこう、重要な決断を先延ばしにしよう、なかったことにしよう――、これが、自己破壊的な悪徳を勢いづかせるために人間がとる方策です。(59)

考え、その後、意外に思った箇所、元気づけられた箇所、嫌だと思った箇所、戸惑いを感じた箇所、あるいは後に考えさせられたり、学ばせられたりするなど思う箇所があれば、分かち合います。説明してください。

聖書を読む

- 創世記 12:3 地上の氏族はすべて、あなたによって祝福に入る。
- 詩編 121 目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けはどこから来るのか。わたしの助けは来る 天地を造られた主のもとから。
- ヨハネ 3:5 だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることは出来ない。(新たな命に通じる洗礼。この創造のみわざを受け入れることができなければ、神の国に入ることはできない。)

分かち合う：これらの聖書の言葉と回勅の引用文とはどのようにつながっていると思いますか？

来週のための準備：地球規模の汚染、気候変動、水の状況、生物の多様性、地球規模の不平等について、事実を一つ、出典を挙げて分かち合えるように準備する。

祈り

答唱：わたしたちの祈りを聞き入れてください。

- 先唱：共通善や全人的で持続可能な人類の発展（18）に寄与するような方法で、決定事項やシステムや法律を判断することができますように。
- 先唱：ここ数年のうちに、たとえば、化石燃料に代わって、再生可能エネルギー源を開発し、二酸化炭素や他の高度汚染ガスの排出を大幅に削減しうるような政策を講じることができますように（26）。
- 先唱：人命にとって、また地圏や水圏の生態系の維持にとって、なくてはならないもの、最重要課題である清潔な飲み水を保護するような生活様式や政策を支援することができますように（28）。
- 先唱：経済や商取引や生産の近視眼的な猛進のあまり、地球の資源を強奪するのをやめることができますように（32）。
- 先唱：環境悪化や現今の開発モデルや使い捨て文化が人々の生活に及ぼす影響をいつも考えていることができますように（43）。

閉会

歌を歌う（同時に踊る？）：「太陽の歌」“Canticle of the Sun”（The Heavens Are telling）Marty Haugen：You Tube[3:31]を見て。または映像を見ずに歌う。

平和の挨拶をかわす。そのグループのやり方で。

第三週： 天地創造の福音と人間を根源とするエコロジカルな危機

分かち合う：地球規模の汚染、気候変動、水の状況、生物の多様性、地球規模の不平等について、事実を一つ、出典を挙げて分かち合う。

見る：ロバート・バロン司教による教皇フランシスコの「ラウダート・シ」について。You Tube, June 19, 2015（3:40）

祈る：全員：愛に満ちた創造主、聖霊よ、教皇フランシスコの言葉について考える私たちの心にキリストと聖フランシスコの霊が宿りますように。[黙祷]全員：わたしの主よ、あなたはたたえられますように、わたしたちの姉妹である母なる大地のために。大地は、わたしたちを養い、治め、さまざまな実と色とりどりの草花を生み出します。（1）

順番に読む：「塵」である私たちは、約 138 億年前に始まった水素とヘリウムからできています。45 億年前に「星屑」が地球となり、最終的には鳥やサルや音楽や笑い声になったのです。人類は 20 万年もの間、その一部だったわけです。人間中心主義とは、人間を他の被造物と切り離して上に立たせ、被造物の中で最も重要な中心であるとみなす「主義」のことです。



「ラウダート・シ」の第二章と第三章を読む

- ・・わたしたちが神にかたどって創造された大地への支配権を与えられたことが他の被造物への専横な抑圧的支配を正当化するとの見解は、断固退けなければなりません。(67)
- 象徴に満ちたこうした古代の物語は、今日わたしたちが共有する一つの確信をあかししてくれます。それは、あらゆるものはつながり合っているという確信、そして、わたしたちが、自分たち自身のいのちを真に気遣い、自然とのかかわりをも真に気遣うことは、友愛、正義、他者への誠実と不可分の関係にあるという確信です。(70)
- 「聖書に込められている厳密な意味での啓示と並んで、太陽の輝きや夕暮れの中に、神の顕示がある」とわたしたちはいうことができます。(85)
- キリスト教の伝統が、私有財産を絶対あるいは不可侵のものと認めたことはなく、あらゆる形態の私有財産の社会的目的を強調してきました。(93)
- かつて人類は自らに対するこれほどの権力を有したことはなく、しかも、こうした権力が現に行使されている様態を考慮した場合はとくに、そうして権力が賢明に行使される保証はどこにもありません。現代の戦争ではこれまで以上に破壊的な兵器が用いられることを忘れずに、20 世紀半ばに投下された核爆弾、ナチズムや共産主義やその他の全体主義体制による何百万人もの殺戮に用いられた数多くのテクノロジーを思い起こせば十分でしょう。(104)
- 一つの環境問題が話題に上るたびに、それに対する技術的修復ばかりを追求することは、実は相互につながっているものを切り離し、全地球システムに及ぶ問題の真相と根深さを覆い隠すこととなります。(111)

- 真正な人間性は、閉じた扉の下からそっと入り込む霧のようにほとんど気づかれないながらも、新たな総合へと招きつつ、テクノロジー文化のただ中に住まっているようです。(112)
- 環境に悪影響を及ぼす行為を防ぐには、政治的な取り組みや法的な強制力では不十分だ、とわたしたちは考えるべきです。文化が墮落し、客観的な真理や普遍的に有効な諸原理がもはや保てなくなると、法は恣意的な強制手段あるいは回避すべき障害物としかみなされなくなるからです。(123)
- こうした作物[遺伝子組み換え穀物]の拡大は、生態系の複雑なネットワークの破壊、多様な生産活動の衰退、現在そして将来における地域経済への打撃をもたらします。さまざまな国で、種子の生産と栽培に必要とされる他の製品の寡占の拡大が見られます。一代限りの種子の生産が検討されることがあるとすれば、こうした依存状態はいつそう助長され、その結果、農夫たちに、より大規模な生産者からのそうした種子の購入を強いることとなるでしょう。(134)

考え、その後、意外に思った箇所、元気づけられた箇所、嫌だなと思った箇所、戸惑いを感じた箇所、あるいは後に考えさせられたり、学ばせられたりするなど思う箇所があれば、分かち合います。説明してください。

聖書を読む

- 詩編 95:4: 深い地の底も御手の内にあり、山々の頂も主のもの。海も主のもの、それを造られたのは主。陸もまた、御手によって形づくられた。
- ローマの信徒への手紙 5:11: 神とのこの素晴らしい友情を現実にいただいた私たちは、もはや、無味乾燥な表現で満足することはできません。救い主イエスを通して、歌を歌い、大きな声で神を賛美しましょう。

分かち合う：これらの聖書の言葉と回勅の引用文とはどのようにつながっていると思いますか？

来週のための準備：教皇フランシスコが 112 で言っている「真正な人間性」とはどのようなものだと思うか分かち合えるように準備する。
第四章と第五章 137-201 を読んでおく。

祈り

答唱：キリストよ、助けてください。

- 先唱：キリスト者が、被造界にあつての責任と、大自然と創造主に対する義務と

が、自分の信仰の本質的な部分をなすと悟りますように。(64)

- 先唱：知性を賦与された人間が、自然のおきてや、地上の被造物間に存在する繊細な平衡状態を尊重しますように。(68)
- 先唱：存在するすべてのものの中に映し出される神を見ることができ、わたしたちの心が、すべての被造物のゆえに主を賛美し、すべての被造物と一つになって主を礼拝したいという願望に動かされますように。(87)
- 先唱：あらゆるものはつながっていること、環境への配慮はこうして、仲間である人間への真摯な愛、そして社会問題の解決のためのゆるぎない献身と結ばれる必要があることを認識することができますように。(91)
- 先唱：速度を落として異なるしかたで現実を眺め、なし遂げられてきた積極的で持続可能な進歩を十分に生かすとともに、抑制の効かない誇大妄想によって一掃されてきた価値と優れた目標を取り戻すことができますように。(114)
- 先唱：直接あるいは間接に影響を受ける人々・・・皆が、自分たちの問題と懸念とを周知させてくれ、そして、現在と未来の共通善に資する決定を下すために、適切で信頼できる情報を与えてくれますように。(135)

閉会

歌を歌う（同時に踊る？）：「太陽の歌」“Canticle of the Sun” (The Heavens Are telling) Marty Haugen: You Tube[3:31]を見て。または映像を見ずに歌う。

平和の挨拶をかわす。そのグループのやり方で。

第四週：総合的なエコロジーとアプローチおよび行動

分かち合う：教皇フランシスコが 112 で言っている「真正な人間性」とはどのようなものだと思いますか？

見る：「ラウダート・シ」についての瞑想(“Meditation on Laudato Si” . 4:43 min:<http://www.csjthewell.org/meditation-on-pope-francis-environmental-encyclical/>を見るか、” How Great Thou Art” かそれに似た歌を歌う。

祈る：全員：愛に満ちた創造主、聖霊よ、教皇フランシスコの言葉について考える私たちの心にキリストと聖フランシスコの霊が宿りますように。[黙祷]全員：わた

しの主よ、あなたはたたえられますように、わたしたちの姉妹である母なる大地のために。大地は、わたしたちを養い、治め、さまざまな実と色とりどりの草花を生み出します。(1)

順番に読む：生態系は相関的で相互依存的な組織とその物理的な環境とでできており、長い時間をかけて互いに豊かにし合う関係を築いてきました。ティク・ナット・ハンはこれを「相互存在」(interbeing)と呼んでいます。



教皇フランシスコは信仰と教義のことだけに専念すべきで、科学や政治や経済に口を挟むべきではないと批判する人々の考え方は、細分化していて、教皇はそうした考え方を超えることを求めています。あらゆるものは互いにつながっており、別々に考えるべきではありません。行動しないということは、行動するのと同じくらい政治的です。

「ラウダート・シ」の第四章と第五章を読む

- すべてがつながっているといくら主張しても主張しすぎることがありません。時間と空間はおのこの独立してあるものでなく、また原子や素粒子でさえ、それ単独で捉えることはできません。(138)
- 単一の生産形態に結ばれた支配的ライフスタイルの強要は、生態系を改造することと同じように、有害でありうるのです。(145)
- ……共通善の原理はすぐさま、論理的かつ不可逆的に、連帯と、もっとも貧しい兄弟姉妹のための優先的選択とを求める訴えとなります。(158)
- わたしたちはまず、その世界がどちらに向かい、どのような意味を帯び、どんな価値があるものなのかを考えます。エコロジーへの関心をわたしたちが抱いていても、そうしたより深い問題との格闘がなければ、たいした実りは期待できないであろうと、わたしは確信しています。(160)
- ……地球は故郷であり、人類はともに暮らす家に住む一つの民であるという確信が、幾多の困難を乗り越えながら広がってきました。相互依存関係にある世界は、特定のライフスタイルや生産・消費モデルがわたしたち皆に及ぼす負の影響についてさらに意識化させてくれますが、そればかりではありません。より重要

なことは、単に数か国の利益を守るのではなく、世界的な視野に立つ解決策の提案がなされるよう、わたしたちを促してくれるということです。(164)

- ポリビアの司教団が述べたように、「膨大な温室効果ガス排出という代価を払って高度な工業化による利益を得た国々には、自分たちが引き起こした問題への解決策を提供するいっそう大きな責任があります。」(170)
- ・・・・法的強制力のある国際協定が切に求められます。国家間の関係は、互いの主権を重んじるものでなければなりません、結局はすべての人に波及するであろう広域災害を回避するための、相互同意に基づく手段を定めるものでもなければなりません。(173)
- 困難に際して、わたしたちが気高い原則を掲げ、長期的な共通善を思い描くとき、真の政治的手腕が明らかになります。(178)
- ・・・・水は、なくてはならない稀少資源であり、他の人権の行使の前提となる基本的権利であるということを、わたしたちは知っています。議論の余地のないこの事実は、一つの地域におけるいかなる環境影響評価にも優ります。(185)
- ・・・・しかし、「共通の環境資源を消費することの経済的および社会的代価が透明性をもって認識され、他の民族や未来の世代ではなく、代価を生じさせる者に完全にそれを負担させる」[ベネディクト 16 世、2009 年]場合にのみ、利益を得ることは倫理的であるとみなされうるのです。(195)

考え、その後、意外に思った箇所、元気づけられた箇所、嫌だなどと思った箇所、戸惑いを感じた箇所、あるいは後に考えさせられたり、学ばせられたりするなど思う箇所があれば、分かち合います。説明してください。

聖書を読む

- サムエル記上 16:13: その日以来、主の霊が激しくダビデに降るようになった。
- ヨハネ 9:41: イエスは言われた。「見えなかったのであれば、罪はなかったであろう。しかし、今、『見える』とあなたたちは言っている。だから、あなたたちの罪は残る。」

分かち合う：これらの聖書の言葉と回勅の引用文とはどのようにつながっていると思いますか？

来週のための準備：21 ページの「実践するために」を読む。自分が実行すれば、わ

たしたちがともに暮らす家が大きく変わると言うことを一つ選んで、分かち合えるように準備する。第六章 202-246 を読んでおく。

祈り

答唱：わたしたちに勇気をお与えください。

- 先唱：自然を、わたしたち自身とは関連のない何か、あるいは、わたしたちの生活の単なる背景とみなすことはできないということを理解し、その理解を深めることができますように。(139)
- 先唱：先住民共同体とその文化的伝統への特別な気遣いを示すことができますように。(146)
- 先唱：未来の困窮者ばかりでなく、現在の貧しい人々のことも心に留めることができますように。(162)
- 先唱：21世紀初頭の人類は、重大な責任を十分担ったことで記憶に残るであろうと希望を持ち続けることができますように。(165)
- 先唱：将来を見据え、危機のさまざまな側面に対処するために、一つの新しい全人的で学際的なアプローチができる政治をつくりだすことができますように。(197)
- 先唱：美的感性や詩情、あるいは物事の究極の意味や目的を捉える理性の能力が働く余地を残すことができますように。(199)

閉会

歌を歌う：David Haas の” We Are Called to Act with Justice” (正義をもって行動しよう)かそれに似た歌を歌う。

平和の挨拶をかわす。そのグループのやり方で。

第五週：エコロジカルな教育とエコロジカルな霊性

分かち合う：自分が（一人であるいは他者と一緒に）実行すれば、皆がともに暮らす家が大きく変わると言うことを一つ選んで、分かち合う。説明しなさい。（正解は一つとはかぎりません。）

(今週はDVDなし) John Foley, SJ の” The Cry of the Poor (貧しい人々の叫び)かそれに似た歌を歌う。

祈る：全員：愛に満ちた創造主、聖霊よ、教皇フランシスコの言葉について考える私たちの心にキリストと聖フランシスコの霊が宿りますように。[黙祷]全員：わたしの主よ、あなたはたたえられますように、わたしたちの姉妹である母なる大地のために。大地は、わたしたちを養い、治め、さまざまな実と色とりどりの草花を生み出します。(1)

順番に読む

ものを「投げ捨てる場」などありません。

レンセラー工科大学の2011年の報告によると、人口の一割がひとたびある思想に傾倒すれば、その思想は必然的に有力な意見となってしまいます。この論理については、さらなる研究がなされていますが、地球の総人口は70億人です。計算してみましょう。

「ラウダート・シ」の第六章を読む

- 進路を改めるべき物事がたくさんありますが、とりわけ変わる必要があるのは、わたしたち人間です。わたしたちには、共通の起源について、相互に属し合っていることについて、そしてあらゆる人と共有される未来についての自覚が欠けています。この基本的な自覚が、新しい信念、新たな態度とライフスタイルを成長させてくれるでしょう。わたしたちは、文化的で霊的で教育的な重要課題に直面しており、再生のための長い道に踏み出すようにとの要求を突きつけられています。(202)
- 取りつかれたような消費主義は、技術経済パラダイムが各人にいかなる影響を及ぼすかを示す一例です。(203)
- ・ ・ ・ですからわたしたちの懸念は、極端な気候現象の脅威だけに限定されるものではなく、社会不安という破局的結末にまで広げるべきなのです。消費主義的なライフスタイルへの執着は、とりわけそうしたライフスタイルを続けられる人が少数であるときには、暴力と相互破壊へと導きうるだけのものとなるのです。(204)

- 「わたしたちは歴史上初めて、共通の運命によって新たな行動を始めることが求められている。・・・わたしたちの時代を、生命の新たな尊厳への目覚め、持続可能性を実現するための確たる決意、正義と平和を確立するためのさらなる努力、そして、喜びと祝福に満ちた生命とともに想起される時代にしようではないか」。[地球憲章] (207)



- 神の作品の保護者たれ、との召命を生きることは、徳のある生活には欠かせないことであり、キリスト者としての経験にとって任意の、あるいは副次的な要素ではありません。(217)
- 総合的なエコロジーが求めるのは、被造界との落ち着いた調和を回復するために時間をかけること、わたしたちのライフスタイルや理想について省みること、そして、わたしたちの間に住まれ、わたしたちを包んでいくくださる創造主を観想することです。その現存は「作られるのではなく、発見されるもの、覆いを取り除いて明らかにされるもの」[福音の喜び]なのです。(225)
- ・・・こうした枠組みの中で、社会に向かう愛は、日々のささやかな言動を重視しつつ、環境悪化を食い止め、また「ケアの文化」を促進し社会全体に浸透させる、もっと大掛かりな戦略を考案するようにとわたしたちを駆り立てます。(231)
- 全宇宙は、聖体の中に現存なさる受肉した御子に結ばれて、神に感謝をささげます。実に、聖体は、宇宙的な愛の行為そのものです。・・・それゆえ聖体は、被造界全体の信託管理人であるようわたしたちを導く、環境への関心を照らし生かす光と力の源でもあります。(236)
- キリスト教の霊性は休息と祝祭の価値を総合します。・・・それゆえ、感謝と祭儀を中心に置く休息の日は、週全体を照らし、また、自然や貧しい人々のことをよりいっそう心にかけるよう駆り立ててくれます。(237)

考え、その後、意外に思った箇所、元気づけられた箇所、嫌だなど思った箇所、戸惑いを感じた箇所、あるいは後に考えさせられたり、学ばせられたりするなど思う箇所があれば、分かち合います。説明してください。

聖書を読む

- エゼキエル 37:10 すると、霊が彼らの中に入り、彼らは生き返って自分の足で立った。
- ローマの信徒への手紙 8:11 もし、イエスを死者の中から復活させた方の霊が、あなたがたの内に宿っているなら。キリストを死者の中から復活させた方は、あなたがたの内に宿っているその霊によって、あなたがたの死ぬはずの身体をも生かしてくださるでしょう。
- ヨハネ 11:25 「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。」

分かち合う：これらの聖書の言葉と回勅の引用文とはどのようにつながっていると思いますか？

祈り

答唱：キリストよ、あなたの聖なる十字架で私たちを強めてください。

- 先唱：今週、今月、そしてこれからずっと、皆がともに暮らす家を大切にするために、生活を変える、あるいはライフスタイルを変えるような行動をとることができますように。
- 先唱：人間が、心的また社会的な制約があろうとも、自らを超えて立ち上がり、善なるものを選び直し、新しいスタートを切ることができますように。(205)
- 先唱：環境上の責任についての教育が、直接的で多大な影響を周囲の世界に及ぼす行動へと促すことができますように。たとえば、プラスチックや紙の使用を避けること、水の使用量を減らすこと、ゴミを分別すること、食べられる量だけを調理すること、他の生き物を大切にすること、公共交通機関を利用したりカーシェアリングをしたりすること、植林をすること、不要な電気を消すこと、また、ほかにも実践例はいくつも挙げられます。(211)
- 先唱：ひとひらの葉に、一本の野道に、一滴の露に、貧しいだれかの顔に、神秘的な意味を見いだし、魂の中に、あらゆる物事の中に神のわざを見いだすことができますように。(233)
- 先唱：イエスを大切になさった母マリアが、この世界を知恵の^{まなこ}眼でみられるようにしてくださいますように。(241)
- 先唱：神がわたしたちに託されたこの世界を守るために、寛大さとやさしさとを

もって働くよう、聖ヨセフがわたしたちを鼓舞してくださいますように。(242)

- 先唱：わたしたちに惜しみない献身を呼びかけ、・・・前へと向かう新たな道を見いだすように促される神に、喜びと熱意をもってこたえることができますように。(245)

考え、その後分かち合う：この第五週の体験から、あなたは何を思い、何に心を動かされますか？説明しなさい。

閉会

“Go Make a Difference” (世界を変えに行こう) S. Angrisano and T. Tomaszek (www.youtube.com/watch?v=WDjQEoltGz0, またはそれに似た聖歌。

今の典礼節にふさわしい挨拶をかわす。そのグループのやり方で。

「ラウダート・シ」を実践するために、 意識とシステムとライフスタイルを変えよう

このリストにある多くのことを皆さんはやっておられるでしょう。良いスタートです。自分の環境や与えられた賜物を考えたとき、この世界を「変える」ために以下に挙げたことの中で、何ができると思いますか？

- ① この本をちゃんと読む。何があっても、「ラウダート・シ」を実践する長期計画を立てる。「ラウダート・シ」を促進するために、他の人たちと協力する。
- ② 自分は被造界の一部であり、切り離されているわけではないし、被造界は神聖なものだとの意識を深める。その一体感を「感じる」。
- ③ 被造界のあらゆる要素への愛と感謝を深める。その感謝の思いを言葉と態度で頻繁に表す。
- ④ イエスなら、被造界の美しさとつながりをどう意識されるかを改めて思いながら、福音書を読む。
- ⑤ 気候変動はどれくらい進んでいるか、皆がともに暮らす家を脅かす他の要素は何か（例えば、第二章）、原因と解決策は、などについてもっと学ぶ。
- ⑥ 持続可能な開発目標を財政的に支援し、パリ協定を実行に移すように、世界の指導者に働きかける。
- ⑦ 気候変動を削減し、「貧しい人々の叫び」に耳を傾けることに真剣に取り組む候補者に投票する。
- ⑧ 環境汚染や廃棄物、気候変動を削減し、それらの悪影響に苦しむすべての人々の生活を守ろうとする都市や、県、国内および国際的な法律や協定のために活動する。
- ⑨ 地球を愛し大切にするというテーマを、教会の典礼や活動、組織に取り入れる。
- ⑩ 「ラウダート・シ」が掲げる目標に合わせて、投資や売却をする。
- ⑪ 自宅や学校、教会、職場で、再生可能エネルギーに切り替えてゆく。
- ⑫ 学校で、気候変動の事実を正確に教えるカリキュラムを組んでもらう。
- ⑬ ペットボトルの水の使用は緊急時に限定し、再利用できない物の購入を減らす。
- ⑭ 工場畜産された牛肉や鶏肉、豚肉の消費を減らす。
- ⑮ 有機栽培の地元で生産されたフェアトレードなコーヒー、紅茶、チョコレートを買う。
- ⑯ 繰り返し使える、再利用された（単に再利用可能なだけでない）製品を買う。
- ⑰ 自動車よりも公共交通機関の利用を増やす。自動車の排気ガスを減らすことを学ぶ。
- ⑱ 不要な電気、エアコン、扇風機は常に電源を切っておく。

推獎資料

- Laudato Si' On Care for Our Common Home: e. g., <http://www.usccb.org> or download <http://www.vatican.va/>
- Encyclical Action Kit from Interfaith Power & Light and the Catholic Climate Covenant: http://bit.ly/encyclical_kit
- Green Faith: Mobilizing God' s People to Save the Earth, Fletcher Harper, 178 pages: <http://www.abingdonpress.com/product/9781426781759>
- Healing Earth, an online text from the International Jesuit Ecology Project <http://healingearth.ijep.net/>
- Video, 12:27 min.: "Time for an Energy Change" (Fracking and Climate Change): <http://ecospiritualityresources.com/media>

Acknowledgments and Thanks

Images:

Week One: Tom Toles

Week Two: thelifecoach

Week Three: Mary Southard, CSJ

Week Four: Slideshare

Week Five: France White, SHCJ

Videos:

Week One: Len Sroka and Michelle Sherliza, OP

Week Four: www.csjthewell.org

Editors: Nancy Frommelt, OSF,
T.J. Murphy, Ph.D., John Surette, SJ
Proofreader: Rita L. Daniel

Pilot groups: Dubuque Franciscans,
St. Gertrude Parish, Terri's Group

Produced by Terri MacKenzie, SHCJ
terrishcj@aol.com
<http://ecospiritualityresources.com>
Special thanks to the Society of the Holy Child Jesus



この冊子は以下のアドレスからダウンロード出来ます。
<http://www.ofm-j.or.jp/doc/LaudatoSi-ReflectionResourceJP.pdf>

「ラウダート・シ ーとともに暮らす家を大切に」を考えるための資料
翻訳：フランシスコ会日本管区
2017年2月11日
106-0032
東京都港区六本木4-2-39
03-3403-8088
<http://www.ofm-j.or.jp/>

